Pentium M 1.6GHz, Celeron M 1.3GHz CPU (ヒートシンク付き) PCPM-16, PCPMC-13 取扱説明書

株式会社コンテック

このたびは、PCPM-16, PCPMC-13をご購入いただき、ありがとうございます。
本製品は、CPUとヒートシンクがセットになっています。
本取扱説明書の手順に従ってご使用くださいますようお願いいたします。

⚠ 警告

感電や火傷の恐れがありますので、取り付け作業は電源を切ってから行ってください。

⚠ 注意

必ずヒートシンクに対して風速が1.0m/s 以上となるように強制空冷を行ってください。

◆商品構成

□CPU…1　　□ヒートシンク…1
□取り付けパーツ…1式（ビス、ナット、スプリング、平ワッシャ、スペーサ：各4）
□シリコングリス…1　　□スパナ…1
□取扱説明書(本書)…1　　□Question用紙…1
□登録カード＆保証書…1　　□登録カード返送用封筒…1

◆対象機種

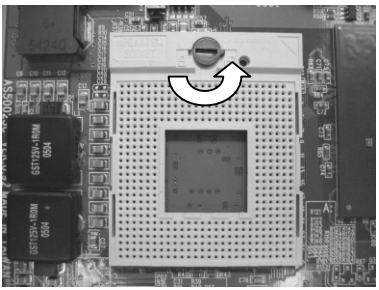
SPI-8550-LLVAS, SCP-8550-LLV, SLC-8550-LVA

◆仕様

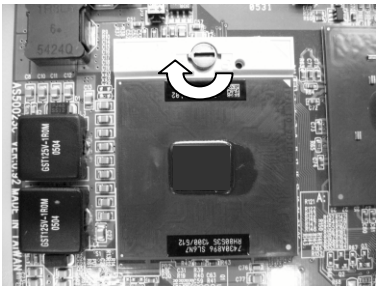
項目		PCPM-16	PCPMC-13
CPU	Model	Intel(R) Pentium(R) M Processor 1.6GHz	Intel(R) Celeron(R) M Processor 1.3GHz
	FSB	400MHz	
	内蔵２次キャッシュ	1MB	512KB
	コア電圧	1.484V	1.356V
	パッケージ	478μFC-PGA	
動作温度範囲		0 - 50℃ (ただし、ヒートシンク中央の上面から高さ15mmの位置における風速が1.0m/s以上となるよう強制空冷が必要)	
保存温度範囲		-40 - 70℃	
動作/保存温度範囲		20 - 85%RH(ただし、結露しないこと)	
Heat-Sink 寸法(mm)		114(W)×84(D)×38(H)	
Heat-Sink 質量		約375g	

◆取り付け方法

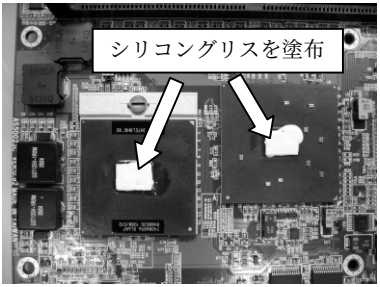
(1) CPUソケット上部のネジをマイナスドライバで左に回してソケットを緩めてください。



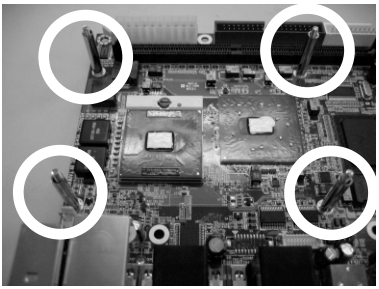
(2) CPUをソケットに装着してCPUソケット上部のネジをマイナスドライバで右に回してソケットを締めてください。



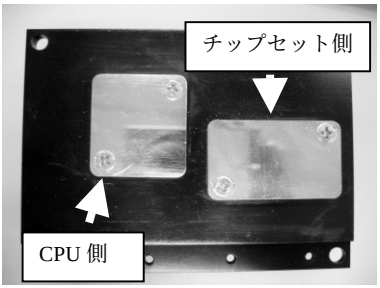
(3) CPU、チップセットのダイ(センター部分)に添付のシリコングリスを塗布してください。

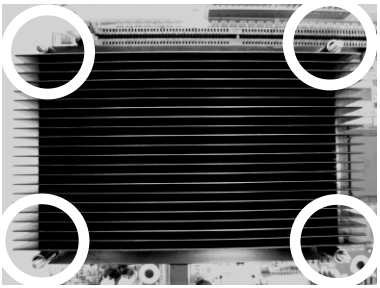


(4) ヒートシンク固定用穴4箇所に基板裏面からビスを挿入し、そのビスに基板上面からスペーサを通してください。

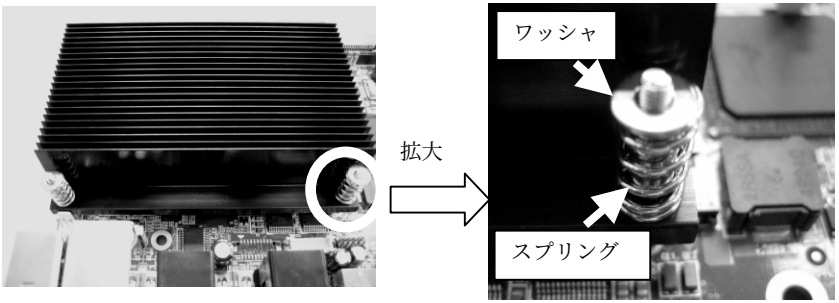


(5) ヒートシンクの方向に気をつけて、ヒートシンクの四隅の穴にスペーサを通しながら、CPUとチップセット上に静かに載せてください。CPUおよびチップセットの表面に傷をつけると故障の原因となりますので十分注意してください。





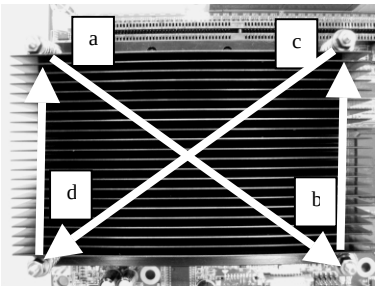
(6) スペーサにスプリング、ワッシャの順に通してください。(4箇所)



(7) ナットをビスに取り付けヒートシンクを固定してください。

①ビスにナットを軽く固定してください。(4箇所)

②スパナでナットを固定しながら基板裏面よりプラスドライバでビスを締めます。このとき1箇所のみ全て締め切ってしまうとヒートシンクが斜めになりCPUやチップセットを傷つける恐れがありますので図のa - dのように順にローテーションしながら数回に分けて締めてください。



真上から見た図

斜め上から見た図

締め付けトルクは0.6Nm程度としてください。ヒートシンクがCPUおよびチップセットへ接する力は、締め付けトルクによらず一定になる構造ですが、基板やスペーサが損傷する可能性がありますので過度の締め付けはしないようにご注意ください。

発行　株式会社コンテック　2005年10月制定

大阪市西淀川区姫里 3-9-31　〒555-0025

日本語　http://www.contec.co.jp/

英語　http://www.contec.com/

中国語　http://www.contec.com.cn/

本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

[10072005]　分類番号　A-51-128

コード番号　LYFN021